

生体機能国際協力基礎研究事業

令和6年度概算要求額 5.3億円（4.8億円）

- (1) 産業技術環境局総務課国際室
- (2) 商務・サービスグループ生物化学産業課

事業の内容

事業目的

生体機能国際協力基礎研究事業（Human Frontier Science Program: HFSP）は、生体の複雑な機能の解明を目的とする最先端の研究を推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的として、日本政府が1987年のベネチア・サミット場で提唱し、1989年に設立した国際研究支援制度である。

事業概要

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構（国際HFSP機構／HFSPPO、事務局はフランス・ストラスブールに所在）が行う以下助成事業に必要な資金を、日本を含む17カ国・組織が連携して拠出する。

- (1) 研究グラント事業：メンバー国の研究者を代表者とする2カ国以上の国際共同研究チームを新たに組成する研究開発事業について、研究費を3年間助成。
- (2) フェローシップ事業：メンバー国の若手研究者が海外の研究機関において研究活動を行う場合に、生活費等を3年間助成。（メンバー国外の研究者は、メンバー国内の機関で研究する場合に限り応募可能）

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



運営支援国（メンバー国）（17ヶ国・組織※）

資金拠出

国際HFSP機構（事務局所在地：仏・ストラスブール）

理事長：長田 重一（大阪大学免疫学フロンティア研究センター名誉教授）
事務局長：パヴェル・カバト（前世界気象機関（WMO）初代チーフサイエンティスト）

資金助成

国際共同研究チーム・若手研究者等

応募

※日、カナダ、仏、独、伊、英、米、EC、スイス、豪、韓、ニュージーランド、印、イスラエル、シンガポール、ノルウェー、南アフリカ

成果目標

国際的な枠組みである本プログラムへの貢献を通じ、最先端の研究シーズの助成を行うとともに、国際的な研究者の人材育成を行うことで、生命科学分野の研究開発の推進と人類の健康福祉の向上を目指す。